

話して聞いて楽しい授業

市では小中学生に、英語の基礎的なコミュニケーション能力を身に付けてもらおうと、市独自の指導計画で英語教育を行っています。



①



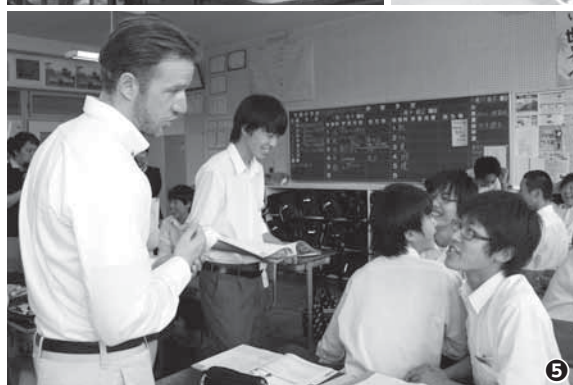
②



③



④



⑤



⑥



⑦

① 覚えた英語を使って発表(美郷台小・4年)

② アドバイスも、もちろん英語で(大栄中・3年)

③ 先生が英語で言った数字はどれかな(美郷台小・2年)

④ 英語を使ったかるたで(加良部小・6年)

⑤ ベンジャミン先生に英語で質問(大栄中・3年)

⑥ 輪になって英語の歌を歌って(美郷台小・2年)

⑦ 世界の観光名所の話に興味津々(加良部小・6年)

独自の指導計画で 英語教育

国際都市・成田には多くの外国人が訪れます。市では、英語の基礎的なコミュニケーション能力を養うことを目的として、英語の授業の充実を図っています。小中学生が外国人と積極的に関わる事ができるように、独自の指導計画を編成し、市立小中学校で英語教育を行っています。

全国の多くの小学校では、英語の授業が5年生から始まることを、市立小学校では1年生から実

英語の授業時間の全国との比較

学年	全国 (外国語活動)	成田市 (英語科)
小学校1年	なし	年間34時間
小学校2～4年		年間35時間
小学校5・6年	年間35時間	年間70時間
中学校	年間140時間	年間155時間(1年)
		年間158時間(2・3年)

施しています(左表)。児童は簡単な歌やゲームなどをしながら楽しく英語を学びます。

市立中学校では、全国の標準授業時間数より年間15～18時間多く英語の授業を行います。

この時間を利用して生徒は教科書を使う学習のほかに、スピーチをしたり、先生や友達に英語でインタビューしたりするなど、話すこと・聞くことを中心とした活動に取り組みます。これらの活動を通して生徒は、英語で意思の疎通を図る基本的なトレーニングを積みま

ALTとの授業で 英語に親しむ

市には現在、51人の外国人英語講師(ALT)がいて、全ての市立小中学校に配置されています。ALTは、学級担任や英語の担当教員と、協力しながら授業を行っています。

ALTとの授業は、小学校から基本的に英語で行われます。身ぶり手ぶりを交え、写真やイラストを見せるなど、児童・生徒が楽しく意味を理解できるように工夫されています。

児童・生徒は、ALTが話す英語を聞き、発音をまねることで、

英語のリズム・発音が自然に身に付きます。また、ALTと話すことで、海外の生活や文化に関心を持つきっかけにもなります。

多くの子どもが 「楽しく」「分かる」

平成24年度に行った市立小中学校の生徒・児童へのアンケートでは「あなたは英語の授業を楽しんでいますか」という質問に、小学生の約96%、中学生の約79%が「とても楽しんでいる」「どちらかというと楽しんでいる」と答えました。また、「授業中、英語で話されたことが分かりますか」の問いには、小中学生ともに約7割が「分かる」「大体分かる」と答えています。

この結果から、小中学生の多くが英語に対して抵抗がなく、親しみを持っていることが分かります。英語の授業を楽しく感じることで、英語で話したいという気持ちが生まれ、さらなる学習意欲の向上につながります。

市では今後も、小中学生に英語のコミュニケーション能力を身に付けてもらうために、英語教育の充実に努めていきます。

※くわしくは教育指導課(☎20・15882)へ。

ALTと児童・生徒に聞きました



美郷台小学校 エイヨット ジェームス先生

分かりやすく楽しい授業を心掛けています。そのために授業の準備をしっかりと行い、ほかのALTと教え方のアイデアの交換をしています。英語の上達の秘訣は、一生懸命トライすること。子どもたちには、とにかく英語を使ってみようとする積極的に挑戦してほしいですね。



美郷台小学校・4年 岡本 泉里さん

英語の時間が好きです。ジェームス先生の授業はゲームが多くてとても面白いです。今、授業では「Go a head.(前へ進め)」「Turn right.(右へ曲がれ)」など、道案内の表現を勉強しています。サッカーが好きなので、いつか外国のサッカー選手と英語で話してみたいな。



大栄中学校・3年 岩野 仁美さん

授業中にALTのベンジャミン先生と会話することで自信がついた英語を試してみたくなり、空港で外国人に話しかけてみました。簡単なやりとりでしたが、通じてうれしかったです。これからも英語を勉強して、日本語が分からないで困っている外国人がいたら助けたいです。